



2025年7月22日(火)
愛知県芸術劇場
企画制作部
Tel 052-955-5506

公益財団法人愛知県文化振興事業団

<Press Release>

報道各位

ダンス、演劇ー領域を超える
身体の所有をテーマにした
ダンス作品兼演劇作品
『ダンスの審査員のダンス』



お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
企画制作部(武石・上林)
〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 Tel 052-955-5506
Fax 052-971-5541 E-mail: pr@aaf.or.jp
WEB: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/detail/20250919.html>





左から中村恩恵、矢澤 誠、入手杏奈、酒井はな、島地保武

ダンス作品兼演劇作品『ダンスの審査員のダンス』を 2025 年 9 月 19 日（金）から 21 日（日）まで、愛知県芸術劇場小ホールで開催します。

本作は、愛知県芸術劇場と舞台芸術祭「秋の隕石 2025 東京」との共同製作による作品で、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰・岡田利規が作・演出を手がけます。

本プロジェクトは、愛知県芸術劇場芸術監督の唐津絵理による発案・企画のもと始動。ジャンル横断的な表現の可能性を探るシリーズの第 3 弾として、ダンスと演劇の境界を揺さぶる新たな試みに挑みます。唐津はこれまでも、岡田とバレエダンサー・酒井はなを迎えた『瀕死の白鳥 その死の真相』（2021 年初演）、『ジゼルのアらすじ』（24 年初演）をプロデュースし、バレエの古典的レパートリーを批評的かつ創造的に読み替える舞台を企画してきました。前者は全国 10 都市以上の公演に加え、ニューヨーク、チャタム、サンフランシスコを巡るアメリカツアーを成功させ、後者では「死」や「復讐」といった主題をミニマルな身体と精緻な言葉によって再構築。酒井の表現力と岡田の言葉によるコラボレーションで国内外で高い評価を受けています。

最新作となる『ダンスの審査員のダンス』では「ダンスとは何か」や「言葉とは何か」といった根源的な問いを起点に、“所有”という現代的なテーマに挑みます。哲学者・鷲田清一による論考『所有論』（24 年）に着想を得て、私たちを取り巻くあらゆるものに潜む“所有”の概念を、ダンスと言葉を通して掘り下げていきます。

出演は、ダンサーの中村恩恵、酒井はな、島地保武、入手杏奈、俳優の矢澤誠に加え、音楽家の小林うてなも参加。ジャンルを超えた表現者たちが、身体と言葉の交差点で新たな表現領域に挑戦します。

本作において統括プロデューサーを務める唐津は“所有”という現代的で根源的なテーマを軸に、異なるジャンルのアーティストたちが交わり、舞台表現の可能性を拡張していきます。その交差から立ち上がる新たな地平を、ぜひ劇場で目撃してください」と語っています。

本作は全国の芸術祭や公共劇場とのコラボレーションのもと、愛知での初演を皮切りに、「秋の隕石 2025 東京」のオープニングを飾り、その後、高知、長野（上田）、福岡（北九州）へと全国ツアーを行う予定です。

プロフィール

作・演出

岡田利規／Toshiki Okada (演劇作家・小説家)

演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。
2007 年に『三月の 5 日間』で海外進出を果たして以降、世界 90 都市以上で作品を上演し続けている。音楽家・美術家・ダンサー・ラッパーなど様々な分野のアーティストとの協働を積極的に行うほか、16 年からはドイツの公立劇場レパートリー作品の作・演出を継続的に務めている。



統括プロデューサー

唐津 絵理 / Eri Karatsu (愛知県芸術劇場芸術監督)

1993 年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。大規模な国際共同製作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは 200 を超える。また、愛知県発信の国内外ツアーを多数開催。最近ではフランス、香港、アメリカ等の劇場やフェスティバルから招聘された。2023 年令和 4 年度（第 73 回）芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。



出演

中村恩恵／Megumi Nakamura (舞踊家)

ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞受賞後渡欧。モンテカルロ・バレエ団を経て、イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し、世界を牽引する振付家達の創作に携わる。退団後は、キリアン作品のコーチも務め、パリ・オペラ座はじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。2007 年より、活動拠点を日本に移し振付家としての活動を精力的に展開。Noism、K バレエカンパニー、新国立劇場バレエ団等に作品提供するなど活躍の場を広げている。22 年より DaBY(Dance Base Yokohama)のゲストアーティストとして活動。舞踊批評家協会新人賞、芸術選奨文部科学大臣賞、服部智恵子賞、紫綬褒章等多数の受賞歴を持つ。2024 年より日本女子体育大学にて准教授を務める。



酒井はな／Hana Sakai (舞踊家)

5 才よりバレエを始め、畑佐俊明、牧阿佐美、三谷恭三に師事。1993 年牧阿佐美バレエ団入団、18 才で『くるみ割り人形』主役デビュー。1997 年開場とともに新国立劇場バレエ団に移り、プリンシパルとして数々の初演を含む主演を務める。優れた表現力と高い技術に品格の備わった、日本を代表するバレエダンサーのひとり。クラシックバレエを中心にコンテンポラリーダンスやミュージカルにも出演。2013 年島地保武とともにダンス・ユニット<アルトノイ>を立ち上げる。芸術選奨文部科学大臣賞（2009年）、第35回二ムラ舞踊賞（15 年）、紫綬褒章（17 年）、第 39 回橘秋子賞特別賞（18 年）、東京新聞舞踊芸術賞（21 年）受賞。洗足学園音楽大学バレエコース客員教授。DaBY(Dance Base Yokohama)ゲストアーティスト。愛知県芸術劇場ダンスアーティスト。



島地保武／Yasutake Shimaji (ダンサー・振付家)

2004～06 年 Noism (新潟市)、06～15 年ザ・フォーサイス・カンパニー (フランクフルト) に所属。13 年に酒井はなとのユニット<アルトノイ>を結成。16 年愛知県芸術劇場製作で環 ROY と共作共演の『ありか』を初演以来 10 年にわたり国内外で再演し続けている。ダンスを軸に多岐にわたり活動している。DaBY(Dance Base Yokohama)ゲストアーティスト。愛知県芸術劇場ダンスアーティスト。



入手杏奈／Anna Irite (ダンサー・振付家)

静岡県出身。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。コンテンポラリーダンスを木佐貫邦子に師事。近年の主な出演作に【舞台】『アーリントン〔ラブ・ストーリー〕』(白井晃演出)、『夜の女たち』(長塚圭史演出)、『バナナの花は食べられる』(山本卓卓作・演出)、『ジャズ大名』(福原充則演出)、『愛と正義』(山本卓卓作・益山貴司演出)等。また『ガラパコスパコス～進化してんのかしてないのか～』(ノゾエ征爾作・演出)に振付、『僕だけが正常な世界』(水野美紀作・演出)に振付、出演。YUKI、スキマスイッチ等多数の音楽PVに振付、出演。「第1回ソロダンスフェスティバル2014」最優秀賞受賞。桜美林大学非常勤講師。



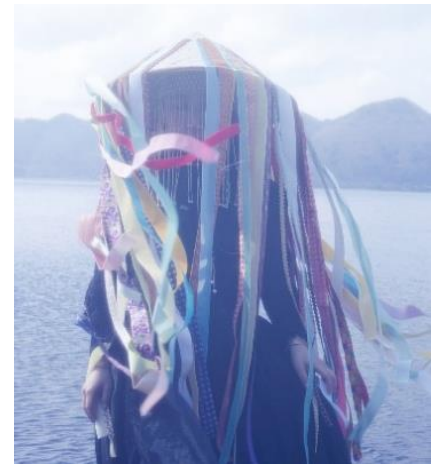
矢澤誠／Makoto Yazawa (俳優)

大学在学中より演劇活動を始める。1 年間の新聞社勤務を経て、NODA・MAP『ローリング・ストーン』（作・演出 野田秀樹）に出演。以降、独自の身体感覚を活かし、様々な演出家・振付家の作品に参加。これまでに、ミクニヤナイハラプロジェクト（作・演出 矢内原美邦）、カムカムミニキーナ（作・演出 松村武）、遊園地再生事業団（作・演出 宮沢章夫）、カンパニーデラシネラ（演出・振付 小野寺修二）などに出演。岡田利規作・演出作品では、チェルフィッチュ『わたしたちは無傷な別人である』、『スーパープレミアムソフトWバニラリッチ』、『消しゴム山』、『リビングルームのメタモルフォーシス』などに出演。



小林うてな／Utena Kobayashi (音楽家)

長野県在住。スティールパン、ハーブ、マリンバ、シンセサイザーなどを演奏する他、歌唱の際は独自の言語を用いる。民族音楽とロック、ダブなど様々なジャンルを織り交ぜたバンド「鬼の右腕」でも活動している。



公演情報

公演名 | ダンス作品兼演劇作品『ダンスの審査員のダンス』
日時 | 2025年9月19日(金)19:00開演(18:30開場)
20日(土)・21日(日)14:00開演(13:30開場)
会場 | 愛知県芸術劇場 小ホール
作・演出 | 岡田利規
統括プロデューサー | 唐津絵理
出演 | 中村恩恵/酒井はな/島地保武/入手杏奈/矢澤 誠 出演・音楽 小林うてな
入場料金 | 全席自由・整理番号付 一般 5,000円 U25 2,500円
※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書)
※車いすでご来場の方は、チケット購入後、劇場事務局までご連絡ください。
※団体割引(5名以上)は劇場事務局にて取扱い。
※未就学児入場不可。20日公演のみ託児サービスあり(有料・要予約)。
○託児サービス 対象:満1歳以上の未就学児
料金:1名につき1,000円(税込)
申込締切:9月13日(土) 12:00
託児申込み:オフィス・パレット(株) ☎ 0120-353-528(携帯からは052-562-5005)
平日 9:00~17:00、土 9:00~12:00(日・祝日は休業)
視覚に障がいのあるお客さまへの鑑賞サポート
事前にプログラムのデータをEメールでお送りできます。
※車椅子席、鑑賞サポートは、劇場事務局(☎ 052-211-7552) / contact@aaf.or.jpへご連絡ください。
※やむを得ない事情により内容・出演者等が変更になる場合があります。
無料招待 | 小・中・高校生招待(要事前予約・枚数限定・先着順)
発売日時 | 販売中
販売場所 | ○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス
<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/>
○愛知芸術文化センタープレイガイド ☎052-972-0430
※平日 10:00-19:00 土日祝休 10:00-18:00(月曜定休/祝休日の場合、翌平日)
<購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。>
主催 | 愛知県芸術劇場
製作 | 愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
舞台芸術祭「秋の隕石」(東京舞台芸術祭実行委員会〔東京都、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)〕)
共同製作 | Dance Base Yokohama(一般財団法人セガサミー文化芸術財団)
助成 | ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーペル
文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会、一般財団法人地域創造
協力 | 株式会社 precog

ツアー情報

愛知県公演に続いて、全国をツアーします。

東京 公演	舞台芸術祭「秋の隕石 2025 東京」 2025 年 10 月 1 日(水)-5 日(日) 東京芸術劇場 シアターイースト https://autumnmeteorite.jp	
高知 公演	2025 年 12 月 13 日(土)・14 日(日) 高知県立美術館 ホール https://moak.jp	
長野(上田) 公演	2026 年 1 月 12 日(月・祝) サントミューゼ(上田市交流文化芸術センター) 小ホール https://www.santomyuze.com	
福岡(北九州) 公演	2026 年 1 月 25 日(日) J:COM 北九州芸術劇場 中劇場 https://q-geki.jp	